

## 三浦小学校

「3A+夢」

校長 山脇 克仁

### ◆はじめに

この春、6名の新入生を迎え、全校児童32名、教職員11名で、2022年度の教育活動がスタートしました。

校区は田野浦・出口の2地区からなり地域の方からは学校に対して全面的な支援協力をしていただいています。例えば、校区では花卉栽培が盛んですが、素敵な花を持ってきていただき、学校中いつも花でいっぱいです。また、6月に開催した運動会の日は早朝までの大雨の影響で、運動場はとも使用できる状況ではありませんでしたが、保護者・地域の方が午前5時から懸命に作業をしてくださり無事開催することができました。



なって子どもたちを育てているということが実感できる学校です。

### ◆学校教育目標

「いつも笑顔で元気です」

○確かな学力 (知)  
○豊かな人間性 (徳)  
○たくましい心と体(体)  
昨年度に引き続き、この教育目標としました。

今、時代はSociety5.0というAI人工知能やインターネットなどの最新テクノロジーを活用した便利な社会、超スマート社会になりつつあるといわれています。20年後には、現在ある職業の半分近くがAI人工知能を搭載したロボットの仕事となるともいわれています。このような時代だからこそ必要な教育、しかしこのようないかな教育、つまり不易と流行をしつかり意識した教育をしていきたいと考えています。



### ◆「3A(あ)+夢」

今年度、学校教育目標「いつも笑顔で元気です」の実現のため、全校児童、全教職員が同じベクトルで進むためのスローガンとして、「3A(あ)+夢」を設定し、取り組んでいます。

○「3A(あ)」とは、  
○「あいさつ、返事」をしつかりして勇気・元気いっばいになること。  
○「ありがとう」をしつかり言うことができ感謝の気持ちを持つことで幸せいっばいになること。

○「元氣いっばいあそんで」笑顔いっばいになること。そしてプラス「夢」を持つこと、「夢」を持つことはすべての成功のスタートだと思えます。

3A(あ)は「あいさつ」「ありがとう」「あそぶ」の頭の文字「あ」です。さらに、地域の方や各業種で活躍している本



物の方と、いろんな形で出会い、一緒に活動していくことで、将来への夢を持ち、自らその夢の実現に向かって頑張りだすのではないかと考えています。

### ◆授業改善(教科担任制)

小学校の学級担任は、基本的には全授業を担当し、責任を持つ子どもたちの面倒を見ることが出来ます。中学校以上の教科担任制では、専門性に加え、いろんな視点で子どもたちを見ることが出来ます。

そこで、今年度から小学校の強みに、中学校以上の良さを加味した形の一部「教科担任制」を導入しました。現在、1・2年生は2人、3・4年生は4人、5・6年生は5人の教員が指導にあたっています。

各教員が授業後、綿密な情報交換をすることにより、子どもたちを一元的ではなく、多面的に見ることが出来るようになってきていると思えます。子どもたちの良さや長所をできるだけ多く見つけ、それを伸ばしていきたいと考えています。

### ◆地域との連携

区長、民生委員、関係機関の代表者、PTA役員などで構成する「三浦の子どもを育てる会」(学校運営協議会)を中心として、「三世代交流事業」などの行事の開催や、子どもたちの見守り活動、さまざまな学校支援ボランティア活動をしていただいています。



子どもたちにはさまざまな人との出会い、関わることを通して地域の一員としての自覚と社会性を身につけてほしいと思えます。

### ◆防災教育

本校は「高知県学校安全総合支援事業」拠点校として、地震・津波などの災害対策学習に地域・関係機関と連携して取り組んでいます。12月16日(金)が研究発表会になっています。

上川口小学校

共に学び、  
高め合う学校をめざして

校長 野中 道八

「共に学び高め合う」ことは、児童一人ひとりの進路を保障し、生き生きと自己表現できる児童を育成する人権学習にも繋がります。

昨年度からの本校の教育課題は、「共に学び高め合う児童を育成することでした。児童一人ひとりが学びに向かう力をどのように高めていくかを目標にして取り組んできました。

そこで、すぐに取り組んだのが授業改善です。1時間の中で児童にどんな力をつけるかを明確にし、理解したことをどのように使うか、対話を通して学びに向かう意欲的な態度を高め、授業改善に取り組んできました。また、学習規律にも目を向けました。「上川口小学校、学習の決まり7カ条」にも、協働と徹底を合言葉に取り組むこととしました。

1 次の学習の準備をする。  
2 チャイムを守って行動する。



3 こしほねを立てて、良い姿勢で学習する。  
4 手はひじを伸ばしてまっすぐあげる。  
5 名前を呼ばれたら「はい」と元気の良い返事をする。  
6 みんなに聞こえる声で発表する。  
7 話を聞くときは、相手の方を見てしっかりと聴く。

少しずつ、ともに学び高め合う学習集団となってきました。

これは、タブレットを操作し、仲間のスタートを映像で確認しながら、正しいスタートを自分たちで見つけ出す授業です。

授業改善は、児童の興味・関心・態度をより高めるため、日々行われています。



体験学習で心をふくらませる

体験学習では、

- 1 自己肯定感が高まる
- 2 正義感が身につく
- 3 道徳観が身につく

の3つの力が身につくと言われています。上川口小学校では、体験学習を通して学びの土台となる力をつけています。

◆上川口マルシェ

上川口マルシェには2つの目標があります。1つは、子どもたちの学習の場を広げ探究的に生産から販売までを考え組み立てて行うことです。2つ目は、学校を軸として地域の活性化を願う取組です。市場ができれば地域が活性化しますね。



◆米作り

一時中断していた米づくりですが、復活しました。米づくりを通して、「勤労生産活動」の良さを体で体験し「やりぬく力」を身につけるためです。



初めての田植えです。足がぬるぬるします。



本当に暑いなかでの稲刈りでしたがよく頑張りました。

体験学習を通して、子どもたちは多くの力を身につけていきます。その力は、自己を支える力となり学ぶ力の土台をつくりあげます。上川口小学校では、「知・徳・体」とバランスの取れた教育活動に日々取り組んでいます。



今年度の上川口マルシェは、11月26日(土)です。Welcome 上川口マルシェ